



第 6 号

昭和34年2月10日印刷  
昭和34年2月20日発行

発行所  
宇都宮市旭町1-3,427  
宇都宮商工会議所  
電話 2,622 3,072番

編集者 藤生善之助  
印刷者 秋場栄吉  
宇都宮市旭町2丁目  
印刷所 三共印刷株式会社  
電話 4,006 6,481番

## 重ねて宇都宮の商工業の皆様に訴える

会 頭 上 野 小 七

嘗て私共宇都宮商工会議所は『ひるあんどん』だと云われ、あつても無くてもよい存在であるとされて居た時期がありました。今日は幾分私共の誠意も認めて頂き、『ひるあんどん』の汚名を返上しまして、県や、市も補助金を増加して下さつたり、税務署御当局からも感謝状を頂いたり、激励の御言葉を掛けて下さつたり、身に余る光栄と感謝を致して居ります。年度の予算も、私の就任致しました昭和廿九年度には僅に貳百九拾九万円の小額でありましたが、只今は二倍に達する予算額となるに至りました。

会員の方々も、向う様から会費を持つて来て御入会下さる向もあり、感謝の中に追々と会員数を増加しては居りますが、然し乍ら近県の他の都市の会議所から見まするとまだ、年度の予算額も少く、随つて充分活発なる活動が出来て居りません事は本當に残念に存ずる次第であります。此事は、会頭の不徳の致す処と充分反省致す次第であります。又一面には会議所のPRに欠くる処があり、商工業の皆様が会議所の重要性に付て御理解頂けない処にも原因があるのではないかと想像致しますので、昨今直面しました一、二の例をあげまして、会議所というものには目先的には役にも立たない様に思われますが深く掘り下げて将来の事等考えます時に、本當に吾々商工業者としては会議所の存在を決して軽視すべきものでない事を申上げて見度いと存じます。

1  
只今労働省によつて企案せられまして、来る可き国会に提案せられる筈である中小企業退職共済制度の法制化に関する件であります。労働省当局は業界に広まりつゝ、あります退職積立制度をとらえまして、これを助成する意味ではあります。過般臨時中小企業労働福祉対策懇談会を設置致しまして、これが法制化の為に審議を進めつつあります。商工会議所としては、折角国家資金を導入致しまして中小企業の退職共済制度に活を入れて頂きます事は大い

に希望する処であります。しかし中小企業の現状から致しまして中小企業共ものの振興対策の充実こそ焦眉の急務でありまして、かりそめにも本制度の立法化によつて中小企業振興策が等閑に付されるが如き事あるか、或は過重の負担が俄に中小企業の経営者に果せらるる如き事がありますれば、角をためて牛を殺すの結果ともなると存するのであります。本制度の立法化については基本的にも技術的にも検討すべき重要な問題が伏在しておりまして、労働省が単に労働者の共済にのみ重点を置く結果中小企業に於ける労使の協調を損つたりあるいは中小企業相互の紛争をひき起して不測の事態を發生する事のないよう吾等商工会議所の連合体たる日本商工会議所は、労働省試案の内容及び労働福祉対策懇談会の審議状況等を参酌し、あらゆる専門のスタッフを動員して研究を重ね中小企業者の代弁として労働通産両省並に政府の要路と幾度か接渉を重ねて参つたのであります。例えば、同法案を実施するに當つての事務費に対する国家補助金の問題、或は資産の運用の問題についても、商工中金国民金融公庫等中小企業金融に重点をおく金融機関並に銀行等を(労働金庫等特種の機関をさけ)対象とし、貸出の途を開くと共に其資金は出来得る限り加入者(中小企業者)に還元利用されるよう配慮せられ度き事及び之等に関する税法上の免税措置を講ずる事等細部に涉つて中小企業者の立場にたつて、法案要綱の整備に力を尽し、過般漸く其成案が会議所の意見を織込んで決定された次第であります。斯様に法案の未だ決定致します前に為す可き訂正要望は条理を尽して陳情する等、会員皆様の御承知なき間にも会議所の努力と活動とは続けられつゝ、あるのであります。

又昨秋宇都宮商店街連盟の御要望による街路灯料金値下の問題に関しまして、当商工会議所としては、早速栃木県商工会議所連合会の名を以て、東京



電力株式会社栃木支社に対して陳情致しましたが、如何に道理に叶った要望でありましても、此様な特別料金制の設定を要する全国的な問題は、独り本県会議所と電力会社との間に於て変更決定せらる可き問題ではありませんので、之を日本商工会議所に提案し、全国商工会議所の要望問題とし『街路灯特別料金制の設定に関する件』として直接郵政省に陳情する等臨機適當の処置を講じましたが、不日何等かの反響を齎すものと信じます。

以上申述べました様に、私共商工業者の微力なる個人的意見も之を強大なる力として直接国政に結付然も信頼を以て審議され、採択され得る機関は商工会議所において決して他にないのであります。而して皆様の御信頼が厚ければ厚い程会議所のもつ力は強くなつて活躍し得る次第であります。最近

は又当宇都宮商工会議所は、中小企業工場誘致委員会を設けまして、日本商工会議所と連絡を致し、東京都の工業者で当地方に工場を設立希望の方を求めまして、市並に県御当局とも緊密なる連繋を保ち夫々希望者の便宜を計り、中小工場の誘致に精進しつつあります。消費都市宇都宮をして生産都市宇都宮市に一步でも近づけ度いとの念願を持つて、委員各位は熱心に運動を推進して居られるのであります。

「天は自ら助くるものを助く」と申す謬も御座いますが、吾等商工業者は「誰かが何とかして呉れるだろう。「どうにかなるだろう。」の他力本願にのみ依頼する事なく「自分達の事は自分達の力でやつてのける」の覚悟を以て大商工業都市宇都宮の建設の為に団結し、そして又他の都市にまけない宇都宮商工会議所をつくろうではありませんか。

どうか、此点篤と御理解を頂きまして、吾等宇都宮の商工業者は、商工会議所を中心として、正しく強力なる結束を持つて頂きます様重ねて私より御願申上ぐる次第であります。

## 工場誘致を積極的に推進 既に拾工場設置申込を受付

当所に於ては従来既存工業である食品工業、金属機械工業、家具木工業、大谷石採石業、布帛玩具工業等の重要工業振興のため市の産業計画に即応微力を傾けて来たが、更に東京商工会議所と提携して、地方進出を希望する会社の工場誘致に積極的のり出し、既に拾社の希望を得たので県企業誘致委員会並に市工場誘致委員会に連絡緊密なる連携のもとに、之が実現を期し努力しつゝある。

因に申込を受けた拾社の業種を見ると次の通りで、今後東京横浜方面よりの希望相当あるものと期待している。

工具と鋼材  
アラマキ

miyajimahco Utsunomiya

TEL. No. 3,726-6-021



記

- 一、輸出向ゴム玩具、自動車用ゴム、製造工場
- 一、合成樹脂製品製造工場
- 一、家庭金物製造工場
- 一、プラスチック成型加工工場
- 一、メッキ槽製作修理工場
- 一、製氷冷蔵工場
- 一、医薬品製造工場
- 一、絵具製造工場
- 一、セメント袋製造工場
- 一、ゴム風船、観測用気球製造工場

すぐに  
商業従事者実務 通信  
役立つ 講座 開設

開講は四月一日から

商工業従事者の教育指導についてはかねてから当所で力を注いで来たが、このたび日本商工会議所と共同でいよいよ来る四月一日から「商業従事者実務通信講座」を開設し先づ通信教育の方法で商業実務の指導を行うことになりました。

この講座は店員として現在商店に勤務しておられる方々新たに商店に勤務しようとする方々に対して、勤務後すぐ必要な商業実務上の知識を修得させ、また現在店主として商店を経営しておられる方々に対しては、正しい商業経営の在り方と、新しい商業経営の仕方とおぼえて頂くために一流の商業学者、商業実務家にテキストの監修を依頼して開設されるものであります。

現在商業界には難問題が山積しており、また競争も仲々激しいのであります。商業従事者各位におかれては、商業界における成功者となるため、本講座を一人でも多く受講されて十分な商業実務上の知識を修得されることをおすゝめします。





要  
項  
申込は早目にどうぞ。

▼対象——高等学校程度の学力の商業従事者、その他  
でテキストは中学校卒業の優秀者にて十分理解出来る。  
▼開講時期——受講期間は六ヶ月で申込書が三月三十一日  
までに日商に届いた分は四月一日付で受講が許可されテ  
キストは四月から九月まで毎月一卷づゝ日商から送られ  
る。尚受講は四月一日以降随時許可されるが、許可月日  
は各月の一日付となる。

▼申込み——所定の申込用紙に記入の上受講料を添えて、  
宇都宮商工会議所事務局へ提出する  
受講料——入学金 百円 受講料 千二百円  
計 千三百円

▼テキスト——つぎの八冊（六巻）

1. 商店のサービス
  - ・ 商業の重要性・サービス・正札販売、正量販売、品質表示・服装、態度、店員の位置・客との応対、言葉使い（販売を中心とした初歩の英会話を含む）・電話のかけ方
2. 店舗構造、陳列、照明、その他
  - ・ 店舗の位置・店舗の構造・陳列・照明
3. 仕入れから販売まで
  - ・ 上手な仕入方法・新しい商品管理の在り方・効果のある広告・販売促進（割賦販売、外交販売、通信販売その他を含む）
4. 商店の近代経営
  - ・ 商業活動の態様・商店の近代化・スーパーマーケット・ジスカウントハウス・セルフサービス・チェーンストア
5. 商業文の作り方
  - ・ 一般商業文・広告文
6. 調査資料のまとめ方と見方——経営の自己診断
  - ・ 消費者世論の調査・消費者との懇談会・業者懇談会

7. 金融と税務

・ 資金の借り方・手形実務・税金の話（青色申告、白色申告を含む）

8. 経済用語解説

・ 簡単な経済解説、商業関係の簡単な法律用語を含む  
▼指導の方法——テキストの配布・質疑応答・設問解答、添削指導・面接指導  
▼修了証書授与——受講成績良好者に対して授与されます

電話架設促進のため  
第二電話局設置を陳情

電話架設の申込をしても仲々実現しない為相当支障を来  
たしているとの声が各方面から起つているので、当所に於  
て実情調査の結果緊急を要するものとして市並に市議会と  
も連絡の上、次の通り陳情之が実現に万全を期している。

電話架設促進につき陳情

当市の人口増加状況は昭和廿五年度に於て一〇七、一八  
一人であつたのが、昭和卅二年度に於ては二三四、八一九  
人と、町村合併による地域拡大に伴う増加率を遙かに上廻  
る傾向を示し、面積に於ても三一三平方キロを擁し商業活  
動についても駅前大通りの拡張完成区調整の進捗につれ  
都市美に於ても東北随一と称され、現在三八商店街を形成  
し、異常の振興振りを示してその止まるを知らず。

工業に於ては食料品工業、金属機械工業を始め家具木工  
業、大谷石採石業、布帛玩具工業（輸出を含む）等既存の  
工業は市の産業計画と相俟つて、今後は相当の発展を予想  
されて居りますのみならず、市並に当会議所の推進しつゝ  
ある工場誘致についてもその立地条件から中小幾多の工場  
の設置希望申込が東京、横浜方面より最近目立つて多くな  
り、今後も強力なる推進を計画致して居ります。

叙上の状況下に於て、当市に於ける電話新規加入申込者  
は相当数に達して居るにもかゝらず、之が架設実現は遅  
々として進まざる状況について幾多の報告が参つて居りま  
す。聞く処によれば現在の電話局はその收容に於て漸く限  
界に來ていると言ふ。冀くば市勢発展のため第二電話局の  
増設方格段の御配慮を賜りたくそのためにはまた微力を傾  
ける覚悟であります。

当市発展の大計を想うの時、これに対して至急適切なる  
御処置を講ぜられる様茲に陳情する次第であります。

昭和卅三年十二月廿二日

宇都宮商工会議所

余頭 上野 小七

提出先

- |            |          |
|------------|----------|
| 日本電信電話公社総裁 | 大橋 八郎 殿  |
| 同 関東電気通信局長 | 近 藤 潔 殿  |
| 同 栃木電気通信部長 | 渡 辺 順平 殿 |
| 同 宇都宮電話局長  | 山 下 薫 殿  |



### 県道宇都宮大谷線舗装 工事促進につき陳情

昭和卅三年九月廿二日付弊所より「市内幹線道路等改修工事促進方」につき陳情致しました処、是等の内一部は促進せられたが、未だ遅々として進まざる箇所が見受けられます事は誠に遺憾に存じます。

特に県道宇都宮大谷線は漸く側溝工事に着手せられた程度にて甚だしき悪路となつて居ります。

申上げる迄もなく本路線は特産大谷石の搬出路として又觀光大谷への路線としてトラック、バス、ハイヤー等の往來は日々激増し、産業、觀光上正に重要路線で一日も忽せに出来ないと思存じます。

何卒本路線を早急に舗装せらるゝ様茲に陳情致す次第であります。

昭和卅三年十二月廿六日

宇都宮商工会議所

会頭 上野 小 七

栃木県知事 小川喜一殿

### 市内相生町・千手町・大町の 大通り補修工事促進に つき陳情

本町内関係者は宇都宮市復興計画に基き大通り拡張に協力既に昨年十一月下旬には県都振興のため大なる犠牲を払い移転を完了、歩道の完工を見た事は御高承の通りであります。

然るに其の後拡張された道路の補修工事は遅々として進まず遺憾の聲は巷に澎湃として溢れて居ります。

申上ぐる迄もなく本箇所は本県随一の繁華街であるのみならず、その交通量に於て地方稀に見る所附近商店は素より通行者の危険此の上もなく、公安上から見ても正に一日も忽せに出来ないものと思料致します。

何卒実状御察察の上、之が補修工事の早急に完工出来ませ御取計相成度茲に陳情致す次第であります。

昭和卅四年一月十九日

宇都宮商工会議所

会頭 上野 小 七

宇都宮市商店街連盟

会長 荒牧春三郎

提出先

栃木県知事職務代理者 木村小金吾殿  
 栃木県副知事  
 栃木県議會議長 島田藤五郎殿

### 青色申告決算個別指導会開催

- 一、とき 昭和卅四年一月十四日  
午前九時～午後六時
- 一、ところ 宇都宮商工会議所 第三會議室
- 一、指導 税理士星野準五郎先生 大森事務員  
會計士石島吉造先生 渡辺事務員

宇都宮青色申告会（会長坂本久吾氏）では充足以来當會議所と密接なる連絡をとり之が普及指導を熱心に行つてゐるので、現在会員三一〇名となり好評を博しつつある。

今回決算個別指導を行つたところ、この指導をうけた会員五〇名に達し、その懇切な指導振りには好感をもつて迎へられてゐる。

因に同会は去る昭和卅二年十一月十五日関東信越国税局長より表彰を受けたことがあり、当日も坂本会長高島副会長は終日熱心に会員の世話に当り今後一層の利用方を希望してゐる。

### 発明相談

日本経済の発展は一に輸出の振興に依つ事が大きいのでありますが、それにはまづオリジナルな発明によつてこそ国際競争場裡に進出する力を培養されると云う声が各方面から盛り上つて居ります。

當會議所に於ては夙に宇都宮市宇都宮発明協会と提携して、一般発明家の相談相手として左の通り相談を受け、発明意欲昂揚に意を注いで来たが、幸に逐月相談件数増加し関係者から喜ばれてゐる。

今後の御利用をお待ちして居ります。

### 記

- 一、相談員 弁理士 堀田健蔵先生  
（横浜市金沢区平潟町一九三）
- 一、相談内容 特許・新案・意匠・商標に関する出願  
審判・訴訟・鑑定相談
- 一、相談日 毎月第一金曜日
- 一、場 所 宇都宮商工会議所

### 市幹部と当所有志議員との懇談会開催

- 一、日 時 昭和卅三年十二月十八日
- 二、市側出席者 佐藤市長、古沢助役、清水收入役、岡本課長、後藤議會議長、枝村副議長、早乙女、大垣、大野、大塚、設楽、各議員
- 各議員 會議所側出席者  
久保顧問、上野会頭、岩田、飯塚、粕谷、亀田、横倉、竹石、上野（美）、福田（松）、福田（富）、荒牧、井出、鈴木（善）、鈴木（良）、須藤各議員 藤生専務理事

### 昭和三十四年度新年名刺交換会

會議所議員出席者（いろは順）

- |        |         |           |
|--------|---------|-----------|
| 石海勇次郎  | 岩 田 敬   | 保 坂 正 七   |
| 小保方光三  | 大垣治三郎   | 河合長一郎     |
| 粕谷松一郎  | 笠原正一郎   | 亀田 豊 房    |
| 高橋 榮 作 | 田 辺 正 平 | 田 中 永 吉   |
| 竹石 丑 松 | 上野 小 七  | 上野 美 治    |
| 薄井 留 松 | 野 中 辰 吉 | 福 田 新 一   |
| 福田松兵衛  | 藤生善之助   | 小 花 末 吉   |
| 江田 正 助 | 荒牧春三郎   | 荒 肝 善 次 郎 |
| 青木 源 吉 | 朝倉初男    | 坂 本 久 吾   |
| 菊地 由 蔵 | 木 村 明   | 箕 輪 忠 次 郎 |
| 設楽 高 治 | 篠崎一郎    | 須 藤 恒 次 郎 |
| 鈴木 善 助 | 鈴木 良 一  |           |



## 失業保険事務組合結成へ 会員の要望にそなえて

昨年拾月失業保険法の施行規則が一部改正され従業者十  
五人以下の事業主は失業保険事務組合に事務の委託が出来  
る様になったので、当会議所は会員事業主の便益を図ると  
共に優良従業員確保の一助たらんとして事務組合結成を計  
画している。該当事業主の申込みをお待ちしています。奮  
つて御加入を。

次にその概要を説明すれば、

- 一、従業者五人未満の事業所でその二分の一以上の同意  
を得た場合、並に五人以上十五人以下の事業所で事務  
の委託をした場合
- 二、保険料金は毎月の賃金総額の千分の十六で半額本人  
半額事業主負担
- 三、保険料の納期は従業者五人未満の事業所は年四回  
(一月、四月、七月、十月)
- 四、保険金の支給

イ、受給の要件

離職の日以前一年間に通算して被保険者期間が六ヶ  
月以上あるとき

ロ、受給期間

離職した日の翌日から起算して一年間

ハ、保険金日額

日額最高五九〇円とし三〇等級に区分される

ニ、受給日数

1. 離職の日まで引続き拾年

以上同一事業主に被保険者として雇用

された者

二七〇日

2. 離職の日まで引続き五年以上拾年末満

同一事業主に被保険者として雇用され

た者

3. 離職の日まで引続き一年以上五年未満

同一事業主に被保険者として雇用され

た者

た者

4. 離職の日まで引続き同一事業主に被保

険者として雇用された期間が一年未満

であつて被保険者期間が通算して拾ヶ

月以上である者

一八〇日

5. 離職の日まで引続き同一事業主に被保

険者として雇用された期間が一年未満

であつて被保険者期間が通算して六ヶ

月以上九ヶ月以下である者

ホ、保険金支給額と保険料納付額

九〇日

被保険者 として雇 用された 経過年数	給付日数	保 険 金 受 給 総 額	保 険 料 納 付 総 額 (事業主の負 担分を含む)
六ヶ月	九〇日	一四、四〇〇円	七三二円
一年	一八〇日	二八、八〇〇円	一、四六四円
五年	二二〇日	三七、八〇〇円	八、〇一六円
十年	二七〇日	六八、八五〇円	一九、一〇四円
卅年	二七〇日	一五九、三〇〇円	一一六、三三〇円

菓子問屋

有限会社



野 沢 本 店

代表者 野 沢 英 一

宇都宮市川向町七五三  
TEL 四八六六番

(この表は初任給、本俸月額が約、六〇〇〇円で  
採用された者が同一事業主に卅年間勤務して本  
俸月額が約三〇、〇〇〇円になる場合を公務員  
の給与に準じた例です)

### 日商だより

第四十八回日本商工会議所常議員会

日時 昭和卅三年十二月十七日午後一時より

会場 東京産業会館六階会議室

出席 当会議所より上野金頭出席

会議内容

1. 報告事項

一、昭和卅三年十一月業務概要報告

二、台風廿二号水害義捐金の件

三、その他

2. 協議事項

一、会費減額に関する件

二、昭和卅四年度国家予算に関する件

三、中小企業退職共済制度に関する件

四、小売商業特別措置法制定促進に関する件

五、相互銀行金利引下げ方要望の件

六、その他

3. 講演

一、佐々部貿易使節団長の欧州産業視察談

二、永野移動大使のソ連産業視察談

第十三回日商中小企業委員会

日時 昭和卅四年一月二十日午後二時より

会場 丸ビル九階 丸の内精養軒

出席 当会議所より上野金頭藤生専務理事出席

会議内容

1. 報告事項

一、昭和卅四年度中小企業関係国家予算について

2. 協議事項

一、国民金融公庫、中小企業金融公庫等に対する財政投  
融資の件



- 二、中小企業退職金共済事業法案に関する件
- 三、その他

### 第四十九回日本商工会議所常議員会

日時 昭和卅四年一月二十一日午後一時より  
 会場 銀行俱樂部二階大会議室  
 出席 当会議所より上野会頭出席  
 会議内容

#### 1. 報告事項

- 一、昭和卅三年十二月業務概要報告
- 二、外国貿易及び外国為替管理法改正に関する件
- 三、昭和卅四年度国家予算に関する件

#### 2. 協議事項

- 一、日本商工会議所就業規則中一部改正に関する件
- 二、同 給与規則中一部改正に関する件
- 三、同 海外企業技術協力斡旋本部規則中一部改正に関する件
- 四、議員総会への提案事項
- イ、常議員補欠選任の件
- ロ、中小企業委員会よりの提案事項
- ハ、経済協力の推進に関する件
- 五、その他

### 第二十一回日本商工会議所議員総会

日時 昭和卅四年一月二十一日午後二時より  
 会場 銀行俱樂部二階大会議室  
 出席 当会議所より上野会頭出席  
 会議内容

#### 1. 報告事項

- 一、昭和卅三年十一月、十二月業務概要報告
- 二、外国貿易及び外国為替管理法改正に関する件
- 三、昭和卅四年度国家予算に関する件
- 四、商業従事者実務通信講座に関する件
- 五、その他

#### 2. 協議事項

- 一、常議員補欠選任の件
- 二、国民金融公庫、中小企業金融公庫に対する財政投融資の件
- 三、中小企業退職金共済事業法案に関する件
- 四、経済協力の推進に関する件
- 五、その他

#### 3. 講演

演題 「米ソの軍事科学競争とわが国の国防について」  
 講師 内閣調査官 久住忠男氏

## 全国小売物価概況

### 昭和卅三年年間の動き

昭和卅三年の全国総平均指数は、年間平均で一〇六・四（昭和廿七年を一〇〇とし）をしめし卅二年に比し二・六％の低下となつた。

総平均指数の年間の推移をみると、年初一〇六・二であつた指数は卅二年とは全く対照的に毎月下落を続け四月には一〇四・九となり本年の最低をしめた。しかし五月には千ばつつの影響からかなり大巾に上昇、六月にいつたん微

落したが以後上昇を続け拾月には廿二号台風の影響があつて上昇し本年最高の一〇七・九を記録した。これも拾式月には一〇六・三となつて結局年初に比べ〇・一％の微騰となつた。

つきに卅二年と卅三年の年間平均指数を類別について比較すると、食料品は二・五％の低下、衣料品は三・六％の低下、建築材料は七・五％の低下、燃料灯火は三・七％の低下、雑品は〇・五％の低下であつた。

食料品の小分類では主食品が一・三％の上昇、水産食料品が一・五％上昇したほかは、豆類及び野菜が一〇・六％低下、畜産食料品が二・一％の低下、調味料が一・九％の低下、加工食料品が二・一％の低下、嗜好品が一・八％の低下であつた。

## 栃木県商工会議所連合会 事務局長会議

日時 昭和卅四年一月拾日午前拾時より  
 会場 宇都宮商工会議所第三会議室  
 出席 側

大谷振興課長、古河原係長、鈴木主事、行田主事  
 会議所側

那須小倉専務理事、真岡川田事務局長、小山地区  
 国分専務理事、佐野栗田職員、足利望月専務理事  
 栃木増田職員、鹿沼阿部事務局長、日光地区君島  
 事務局長、宇都宮上野会頭、藤生専務理事

#### 会議内容

##### 1. 協議事項

- 一、昭和卅三年度工業技術講習会実施の件  
 小山地区商工会議所に於て講習科目選定の上二月上旬実施の事
- 二、関東商工会議所連合会共催の商店総合経営セミナー  
 に出席の件
- 三、昭和卅四年度に予定される主たる行事

イ、工場経営セミナー

ロ、商店経営セミナー

ハ、全国商工会議所事務局長会議

ニ、関東商工会議所連合会総会

ホ、栃木、茨城県商工会議所会頭会議

ヘ、栃木県と共催による各種指導講習会

ト、日本商工会議所主催職員研修会

チ、国民珠算競技大会、栃木県予選並に全国大会に選手派遣

リ、業務、経理、調査担当者会議

ヌ、職員研修会開催について

##### 2. 連絡事項

- 一、国鉄宇都宮管理局設置運動
- 二、黒磯、高崎間直通デールカー増発運動

以上は県連合会名を以て適当に陳情するも関係会議所に於ても夫々運動する事

- 三、両毛線電化促進運動

本件は両毛線電化促進同盟会より連絡あり次第県連合



会に於ても採り上げること

### 3. 県側との懇談事項

- 一、昭和卅三年度中小企業相談所補助金申請書提出について
- 二、昭和卅三年度各会議所補助金申請書提出について
- 三、昭和卅三年度特定商工業者負担金許可申請書提出について
- 四、小売物価調査表作製打合会開催について

## 保証限度額の増額について要望

栃木県信用保証協会が設立発足以来その機能を發揮せられ、就中県内幾多の中小商工業者が金融上の恩恵に浴しつゝある事は今更論を俟たない処で、深甚なる敬意を表する次第であります。

然し乍ら最近の経済規模拡大の滲透に伴い、現行の保証限度額では充分ではないと言ふ面もある様屢々耳に致して居ります。

つきましては現下の不況を克服し、各々の基盤を確固たらしめんとしつゝある中小商工業者の真摯なる気持をお汲み取り下されて、此際左記の様保証限度額の増額を速かに御考慮下され度く要望する次第であります。

記

法人 六〇〇万円（現行三〇〇万円）  
個人 三〇〇万円（同 一〇〇万円）

以上

昭和卅三年十二月廿五日

栃木県商工会議所連合会

会長 上野 小七

栃木県 知事 小川 喜一殿

栃木県議会議長 島田 藤五郎殿

栃木県信用保証協会々長 柳田 国治殿

## 慶弔

元常議員松田清光氏 昭和卅三年十二月五日逝去

渡辺（清）議員鹿父鉄蔵氏 同 十二月二十日逝去

坂本前常議員母堂マサ氏 同 十二月二十一日逝去

御会合御集会には

会議所貸室を

御利用下さい

### 御入会のおすゝめ

年間会費 個人 一〇 七〇〇円

法人 一〇 一、四〇〇円

商工業者の皆様こそつて入会致しましょう。

田中千代吉元副会頭 同 十二月二十三日逝去

議員朝倉初男氏 昭和卅四年一月三日逝去

上野会頭を始め謹而弔意を表せり。

### 事務局だより

十二月 二日 宇都宮秋まつり自動車展示即売会決算並びに反省会開催 午後四時より  
野沢、小川職員出席す

宇都宮秋まつり決算に関して予備打合会開催、市岡本商工課長、萩原氏、上野氏、荒牧商業部会長、藤生専務理事、小川職員出席す

協和銀行宇都宮支店長早坂今朝歳氏所用にて来所  
宇都宮市社会教育課長増渕文一郎氏外一名所用にて来所

三日～六日 年末調整説明会開催 会議所ホールに於て昭和三十四年度事業計画に関する件打合会開催 午前十一時より  
上野会頭、高橋、保坂副会頭、荒牧、須藤田中（永）、石海、粕谷議員、藤生専務理事出席

宇都宮秋まつり福引大売出し決算報告並に歳末大売出しに関する件打合会開催 午後二時より二十二名出席  
尚同席上に於て第三回全国商店サービスコンクール表彰式開催 三時より  
山木屋、京呉服つるや、朝倉肉店

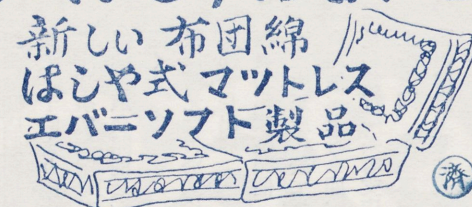
五日 発明相談開催 堀田先生  
宇都宮発明協会役員会開催

昭和三十三年度関東地方発明表彰式に於て

7

地具夜布毛や

新しい布団綿  
ほじや式マットレス  
エバーソフト製品



玉屋のふとん

馬場町 電話 2,172  
3,502




特賞を受けられた藤平勉吉氏の受賞祝賀会  
開催 三時より  
旭栄会商店照明講習会開催 東電会議室に於て 十時より藤生専務理事出席  
県庁知事応接室に於て栃木県新市町村建設促進審議会開催せられ上野会頭出席表彰を受く  
松田清光氏告別式に藤生専務理事、荒收商業部会長出席  
無料法律相談開催  
市役所正庁に於て栃木県商工顧問団の報告会開催 上野会頭、藤生専務理事出席  
足利銀行一条町支店新築落成パーティ開催 上野会頭、藤生専務理事出席  
藤田電気工業株式会社支店長服部徹氏所用の為来所

八日 稲村職員告別式職員焼香す  
九日 宇都宮市中小企業互助会審査委員会開催 藤生専務理事出席 続いて懇談会開催  
南伊豆町観光協会内藤浩二氏外十六名宮市観光宣伝に来所  
十日 十市商工事務研究会開催 今市市報徳振興会館に於て 野沢職員出席  
昭和三十四年度中小企業相談所補助金増額陳情に関する打合せ開催 日本商工会議所に於て 藤生専務理事出席  
相生町共同ビル新築落成式開催 上野会頭出席  
関東商工会議所連合会幹事会開催 藤生専務理事出席  
木曜会開催 藤生専務理事出席  
大谷、古賀志地区県立自然公園指定説明会開催 午前十時より城山公民館に於て 藤生専務理事出席  
歳末連合福引大売出し実施に関する打合せ開催 荒收商業部会長、青木、坂本(久)、木村(明)、福田(富)、議員外各商店街役員二十五名出席  
宇都宮警察署に於て開催の歳末防犯懇談会に藤生専務理事出席  
十三日、十五日 栃木県職業訓練所作品展示即売会開催  
十五日 法人税々務相談開催  
青色申告会、上三川決算指導会開催 神山職員出席  
十七日 第四十八回日本商工会議所常議員会開催 上野会頭出席 東京産業会館に於て  
青色申告会決算指導会開催 会議所ホールに於て  
第二回商工業施設改善資金貸付幹せん審査

**日清製粉株式会社**  
**宇都宮工場**

工場長 外山英二郎

宇都宮市今泉町1,127  
電話 5,411~3番



八日 会開催 藤生専務理事、神山職員出席  
昭和三十四年度当所補助金交付方請願のため市並に市議会に藤生専務理事訪問す  
栃木県環境衛生適正化審議会委員に上野連合会々長任命せらる  
十八日 市幹部並に市議会正副議長、経済常任委員と会議所議員との懇談会開催  
青色申告会宮決算指導会開催  
十九日 宇都宮市中小工業機械設備資金融資審査会開催 藤生専務理事出席  
見本市決算報告会並に昭和三十四年度見本市の計画懇談会開催  
二十日、二十八日 歳末連合福引大売出し開催  
二十二日 昭和三十四年度補助金交付請願のため藤生専務理事、佐藤市長、後藤市議会議長、枝村副議長に面接懇談す  
渡辺(清)議員厳父逝去告別式に会頭代理にて野沢職員焼香す  
船橋ヘルスセンター宣伝部打越氏外二名宣伝に来所  
二十三日 宇都宮電話局の第二電話局設置方につき藤生専務理事山下局長に面接陳情書を手交す 宇都宮市中小企業互助会審査会開催 藤生専務理事出席  
二十四日 日光線電化起工式並に祝賀会日光市公会堂に於て挙行 上野会頭代理にて五味彦出席す  
二十五日 栃木県企業誘致委員会開催  
知事応接室に於て 上野会頭出席  
信用保証協会保証限度額増額につき藤生専務理事、小野塚商工労働部長、信用保証協会に要望書呈出  
島田真議会議長に 陳情書呈出



系呉服の

# つるや

町師曲り通リオン

二十六日 県道宇都宮大谷線、舗装工事促進につき陳情のため藤生専務理事出席す  
 二十七日 須藤議員歳末挨拶に來所  
 二十八日 歳末連合福引大売出し終了  
 〃 田中千代吉氏告別式に上野会頭代理にて藤生専務理事焼香す  
 二十九日 歳末大売出し決算報告会開催  
 一月 一日 宇都宮商工会議所議員新年祝賀会開催  
 午前十時三〇分より 会議所第三会議室に於て  
 〃 新年名刺交換会開催 宇都宮市と共催  
 五日 国民金融公庫宇都宮支所長、覚張氏、中央信用組合理事長、徳力氏、栃木県信用保証協会専務理事、黒川伝右衛門氏、常磐相互銀行宇都宮支店長、立原嘉四郎氏新年挨拶に來所藤生専務理事諸官庁新年挨拶に出所  
 六日 宇都宮商工会議所議員朝倉初男氏告別式に上野会頭外議員多数焼香す  
 〃 富士銀行宇都宮支店長、長谷川正富氏宇都宮電話局長山下薫氏  
 宇都宮稅務署長、島田邦次郎氏並びに総務課長新年挨拶に來所  
 七日 栃木県木工芸振興会新年懇談会に藤生専務理事、神山職員出席  
 〃 関東財務局宇都宮財務部理財課長上条正月氏外二名歳末景気について來訪  
 〃 足利銀行上河原支店長加藤三男氏新年挨拶に來所  
 八日 法人会新年会開催、午後三時より中村に於て藤生専務理事出席  
 〃 木曜会新年会上野会頭、藤生専務理事出席  
 九日 宛明相談開催、堀田先生  
 〃 宇都宮市中小企業互助会審査委員会開催二時より、藤生専務理事出席  
 〃 尙互助会、専務理事に藤生専務就任す

十日 栃木県商工会議所連合会事務局局長會議開催  
 十時より県大谷振興課長、古河原係長、行田鈴木、主事並びに各會議所事務局長出席  
 大工町常陸屋商店新年宴會開催、中村屋に於て、上野会頭出席  
 十二日 第三十五回珠算能力檢定試験下級問題作成のため山田、平山、中島先生來所  
 〃 宇都宮青年會議所役員會開催、十一時三〇分より  
 〃 木村理事長外十二名、藤生専務理事、小川鶴山職員出席す  
 〃 宇都宮市工場誘致委員会開催、十時より市役所正庁に於て上野会頭出席  
 〃 福島商工会議所常議員佐藤誠氏外二名宮駅デパート視察に來所  
 〃 五味参吾、野沢職員応対  
 〃 宇都宮衣料小売協同組合新年懇談会に上野会頭、藤生専務理事出席す  
 十四日 宇都宮青色申告会決算個別指導會開催、九時より、坂本会長外來所  
 〃 馬場町商店街水銀燈建設披露式開催、五時より、馬場町真清館に於て、上野会頭代理にて藤生専務理事、荒收商業部会長出席  
 〃 宇都宮アラレ工業協同組合新年懇談會開催  
 〃 神山職員出席  
 十六日 栃木県商工会議所連合会物価調査に関する協議會開催、午前十時より、梶振興課行田主事外各會議所物価担当者出席  
 〃 青色申告会雀宮決算個別指導會開催、一時より、神山職員出席  
 十七日 宇都宮專門店会新春臨時總會開催、六時三〇分より埴田町金鍋に於て、上野会頭出席  
 〃 第三十五回珠算能力檢定試験下級問題構成山田、平山先生來所  
 〃 市内相生町、千手町、大町の大通り補修工事促進につき陳情のため藤生専務理事出席す  
 〃 日本商工会議所第十三回中小企業委員会開催午後二時より、上野会頭、藤生専務理事出席  
 二十日 第四十九回日本商工会議所常議員開催  
 〃 第二十一回日本商工会議所議員總會開催  
 〃 上野会頭出席  
 〃 勸業銀行前宇都宮支店長 來生慶助氏転任挨拶に來所  
 二十二日 宇都宮家具商業組合恒例太子講式典午後四時より、三川屋に於て  
 〃 藤生専務理事、神山職員出席  
 〃 宇都宮市商店街連盟新年懇談會開催 四時より 會議所ホールに於て  
 〃 上野会頭、保坂、高橋副会頭、荒收、野沢(英)、青木、木村(明)、田中(永)、粕谷、鈴木(善)、議員外、五味参吾、藤生専務理事出席  
 〃 宇都宮市中小企業互助会審査委員会開催 一時より 藤生専務理事出席



宇都宮青年会議所新年懇親会開催  
 上野会頭、荒牧商業部会長、藤生事務理事  
 小川、鶴山職員出席  
 二十六日  
 第十回全国商工技術担当者会議開催 午前  
 十時より 丸ビル九階 小川職員出席  
 第三十五回珠算能力検定試験下級問題県内  
 会議所珠算担当者受取に來所  
 二十七日  
 小山商工会議所国分事務理事來所  
 三十日  
 宇都宮青年会議所役員会開催 午後七時よ  
 り 小川、鶴山職員出席  
 日本勸業銀行宇都宮支店長 大場一夫氏新  
 任挨拶に來所

小売物価調査報告表

(昭和三十三年十二月十日現在)

区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格
(イ) 主	精米	1 kg	83 <sup>円</sup>	及 び 野 菜	大根	1 kg	15 <sup>円</sup>	(イ) 工 食 料 品	こんにやく	1 本	20 <sup>円</sup>
	〃 (關)	〃	83		にんじん	〃	30		竹輪	100g	9
	〃 (外米)	〃	63		キャベツ	〃	40		たくわん	〃	5
	〃 (準内地米)	〃	74		ねぎ	〃	30		梅干	〃	21
	糯米	〃	91		玉ねぎ	〃	50				
	精麦	〃	55								
	小麦粉	〃	53								
	食パン	100g	5								
	干うどん	〃	6								
(ロ) 食	あづき	100g	13	(ロ) 畜 産 食 料 品	牛肉	100g	63	(ロ) 嗜好 品	りんご	1 kg	50 <sup>円</sup>
	かんしょ	1 kg	21		豚肉	〃	50		みかん	〃	100
	ばれいしょ	〃	20		鶏肉	〃	34		キャラメル	1 函	20
					牛乳	1 本	10		清酒	1 本	825
					鶏卵	100g	23		ビール	〃	113
					バター	1 箱	160		サイダー	〃	33
					粉乳	1 かん	160		緑茶	100g	50
									紅茶	1 かん	320
(イ) 主	精米	1 kg	83 <sup>円</sup>	及 び 野 菜	大根	1 kg	15 <sup>円</sup>	(イ) 工 食 料 品	こんにやく	1 本	20 <sup>円</sup>
	〃 (關)	〃	84		にんじん	〃	30		竹輪	100g	9
	〃 (外米)	〃	58		キャベツ	〃	40		たくわん	〃	5
	〃 (準内地米)	〃	74		ねぎ	〃	30		梅干	〃	21
	糯米	〃	91		玉ねぎ	〃	50				
	精麦	〃	60								
	小麦粉	〃	55								
	食パン	100g	5								
	干うどん	〃	5								
(ロ) 食	あづき	100g	14	(ロ) 畜 産 食 料 品	牛肉	100g	63	(ロ) 嗜好 品	りんご	1 kg	70
	かんしょ	1 kg	21		豚肉	〃	50		みかん	〃	100
	ばれいしょ	〃	20		鶏肉	〃	34		キャラメル	1 函	20
					牛乳	1 本	10		清酒	1 本	825
					鶏卵	100g	23		ビール	〃	113
					バター	1 箱	160		サイダー	〃	33
					粉乳	1 かん	160		緑茶	100g	50
									紅茶	1 かん	320

(昭和三十四年一月十日現在)

編集後記

いよ／＼業務輻輳のため事務局職員の拡充に迫られてい  
 ましたが、此程元日本勸業銀行宇都宮支店勤務の酒井辰雄  
 氏を職員として採用致しました。

諸取引照会、斡旋並に金融斡旋等「親切」迅速にお取  
 扱致しますから今後共一層の御利用をお願い致します。